

開 講 学 科	総合デザイン工学科	前橋工科大学			シラバス	
科 目 名	都市環境計画	標準対象年次	選択 / 必修	科目コード		
		3 年次	選択	18100701		
担当教員	宮崎 均	単位数	学 期	曜 日	時 限	
		2 単位	前期	木曜日	6 時限	
授業の教育目的・目標	<p>目的：建築を計画・設計する上で、都市環境との関係性・重要性を理解する。</p> <p>目標：①都市と都市計画を理解する。 ②人間生活・住居の場としての都市を知る。 ③都市の仕組みと構造を知る。 ④都市の設計手法を知る。 ⑤都市計画の制度・手段を知る。</p>					
学科の学習・教育目標との関係	<p>a. 自ら調べ、自ら考え問題解決する能力をもっている。 c. 記述能力、描写能力、ものを作る能力を通して、自分の考えを表現する事が出来る。 d. 人間のスケールを実感として理解している。 f. 機能と形態を結びつけて考えることが出来る。 g. 建築家が備えるべき安全性や快適性に関する基本的な知識を持っている。 h. 生活の豊かさや人間の健康を意識した空間を創造する事が出来る。 i. 建築の地域社会との関わりや、建築と環境の関係について考えることが出来る。 j. 建築家が備えるべき社会的責任を理解している。</p>					
キーワード	都市の歴史、人間と都市の関係、都市の構成、都市デザイン					
授業の概要	<p>建築の社会的役割は、物的な空間の限定によって人間と人間の関係、人間と物との関係の秩序を与えることであり、作られる建築空間が人を包むものであるならその連続した所空間は存在する。人間の居住空間である都市環境の秩序立てを理解し、考え、デザインする学ぶ。</p>					
授業の計画	第 1 回:	シラバスの説明、都市環境とは				
	第 2 回:	都市の成立、都市の分類				
	第 3 回:	近代化と都市化、都市問題				
	第 4 回:	都市環境のビデオ視聴				
	第 5 回:	日本の都市形成、日本の都市化の特徴				
	第 6 回:	都市計画の社会的役割				
	第 7 回:	現代都市計画の思想、概念、方法				
	第 8 回:	現代都市計画の思想、概念、方法				
	第 9 回:	都市の構成要素				
	第 10 回:	都市と居住環境				
	第 11 回:	都市環境のビデオ視聴把握と解析				
	第 12 回:	都市の構成計画				
	第 13 回:	都市の構成デザイン				
	第 14 回:	都市計画法、都市計画事業				
	第 15 回:	総括				
受講条件・関連科目	<p>受講条件：1・2 年の計画系の授業を受けていること 関連科目：都市環境Ⅱ、建築設計製図Ⅴ</p>					
授業方法	可能なかぎり、視聴資料にて授業を行う。					
テキスト・参考書						
成績評価	<p>・期末試験（100%） ・レポート（0%） ・その他 ・小テスト（0%）</p>					
履修上の注意	関連書籍（授業中に紹介する）を購読することが望ましい。					
オフィスアワー	メールによる。miyazaki@maebashi-it.ac.jp					